

施策指標については、順調に推移している指標を「◎」、計画改定時より改善している指標を「○」、計画改定時より改善していない指標を「△」としました。

また、それらの施策指標の達成状況を基に、施策展開の方向ごとの進捗状況についても評価しました。

施策展開の方向ごとに、順調に推移している施策は「A」、計画改定時より改善している施策は「B」、計画改定時より改善していない施策は「C」としました。

令和3年度の実績では、34の施策指標のうち、順調に推移している指標は17指標（50%）、計画改定時より改善している指標は11指標（32%）、計画改定時より改善していない指標は6指標（18%）となりました。

これに基づく20の施策展開の方向ごとの進捗状況の評価については、順調に推移している施策は10（50%）、計画改定時より改善している施策は9（45%）、計画改定時より改善していない施策は1（5%）でした。

◇ 施策指標の進捗状況

埼玉県環境基本計画に設定した施策指標	34	
	R2年度	R3年度
◎：順調に推移している施策指標	16	17
○：計画改定時より改善している施策指標	11	11
△：計画改定時より改善していない施策指標	7	6
－：数値結果が未確定等のため判定不能の施策指標	0	0

※うち4つは新型コロナウイルス感染症の影響による

◇ 施策展開の方向ごとの評価

埼玉県環境基本計画に設定した施策展開の方向	20	
	R2年度	R3年度
A：順調に推移している	10	10
B：計画改定時より改善している	10	9
C：計画改定時より改善していない	0	1
－：数値結果が未確定等のため判定不能	0	0

I 新たなエネルギー社会の構築

1 新たなエネルギー社会の構築 A

H29新規	状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の再生可能エネルギー発電設備件数は194,894件(令和3年度)で全国2位、本計画見直し時の141,025件(平成29年度)から1.4倍の増加となっている。 ・家庭や企業等における再生可能エネルギー設備やコージェネレーションシステムなどの導入拡大に向け、設置費用の一部を補助するなど、引き続き支援を行っていく。 ・地域住民の安心・安全、自然環境、景観などが損なわれないよう十分配慮された再生可能エネルギー施設の設置・管理を推進する。
-------	----	---

2 地球温暖化対策の総合的推進 B

状況		<ul style="list-style-type: none"> ・県全体の温室効果ガスの排出量は目標値に到達していないが、減少傾向にある。目標設定型排出量取引制度等の推進により、更なる削減を図る。 ・次世代自動車の普及割合は増加しているが、目標値を下回った。事業者と連携した啓発等により普及の促進を図っていく。 ・エコドライブアドバイザーの認定者数は目標値を達成し、エコドライブ普及の核となる人物が着実に養成されている。 					
H29見直	指標の達成状況	県全体の温室効果ガスの排出量	万t - CO ₂	改定時 H26年度	最新値 R元年度	当該年度目標値 R元年度	目標値 R3年度
	○			3,849	3,552	3,458	3,363
継続	指標の達成状況	次世代自動車の普及割合	%	改定時 H26年度	最新値 R2年度	当該年度目標値 R2年度	目標値 R3年度
	○			11.0	24.0	31.0	33.0
継続	指標の達成状況	エコドライブアドバイザーの認定者数(累計)	人	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
	◎			9,907	28,564	18,750	18,750

3 ヒートアイランド対策の推進 B

状況		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な緑の創出面積は目標値を達成した。今後も小規模な敷地面積(1,000m²以上3,000m²未満)においても確実に緑化を行ってもらうため、緑化計画届出制度の周知徹底を図っていく。 ・次世代自動車の普及割合は増加しているが、目標値を下回った。事業者と連携した啓発等により普及の促進を図っていく。 					
H29見直	指標の達成状況	身近な緑の創出面積(累計)	ha	改定時 H27年度	最新値 H29~R3年度累計	当該年度目標値 H29~R3年度累計	目標値 H29~R3年度累計
	◎			-	371.9	250	250
継続	指標の達成状況	【再掲】 次世代自動車の普及割合	%	改定時 H26年度	最新値 R2年度	当該年度目標値 R2年度	目標値 R3年度
	○			11.0	24.0	31.0	33.0

Ⅱ 限りある資源を大切に作る循環型社会づくり

4 廃棄物の減量化・循環利用の推進						A
状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物の1人1日当たりの最終処分量は順調に推移しており、今後も循環型社会づくりの意識形成・活動促進を行っていく。 産業廃棄物の最終処分量については、当該年度の目標値を達成した。総発生量に占める割合が大きいがれき類や、金属くず等の排出は、建設業や製造業からの割合が大きく、経済活動状況による振れ幅が大きいため、再資源化を徹底していく必要がある。 県や市町村が行う3R講座の受講者数は、目標値を達成した。対面での講座開催と並行して、講座のリモート開催等を検討する。 					
指標の達成状況	一般廃棄物の1人1日当たりの最終処分量	g/人・日	改定時 H26年度	最新値 R2年度	当該年度目標値 R2年度	目標値 R3年度
◎			47	32	44	43
指標の達成状況	産業廃棄物の最終処分量	千t	改定時 H26年度	最新値 R2年度	当該年度目標値 R2年度	目標値 R3年度
◎			192	143	175	172
指標の達成状況	県や市町村が行う3R講座の受講者数	人	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
◎			6,617	15,305	7,000	7,000
継続						
H29見直						
H29見直						
5 廃棄物の適正処理の推進						A
状況	<ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェスト普及率は当該年度の目標値を達成した。引き続きイベントでのPR等により導入企業の増加を目指す。 高濃度PCB廃棄物の処分率は、目標値を達成した。 					
指標の達成状況	電子マニフェストの普及率	%	改定時 H26年度	最新値 R2年度	当該年度目標値 R2年度	目標値 R3年度
◎			49.7	66.4	60.6	62.6
指標の達成状況	高濃度PCB廃棄物の処分率	%	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
◎			11.6	99.9	89.9	89.9
H29新規						
H29新規						
6 水環境の健全化と地盤環境の保全						A
状況	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の地盤沈下量が2cm以上の地域の面積及び5年間の累積沈下量が4cm未満の地盤観測基準点の割合は、目標値を達成した。引き続き、埼玉県生活環境保全条例に基づき、地下水の採取を規制し、地下水の過剰な採取による地盤沈下を防止する。 					
指標の達成状況	1年間の地盤沈下量が2cm以上の地域の面積	km ²	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
◎			0	0	0	0
指標の達成状況	5年間の累積沈下量が4cm未満の地盤観測基準点の割合(平成23年度を除く)	%	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
◎			99.8	100.0	100.0	100
H29新規						
継続						

Ⅲ 恵み豊かなみどりや川に彩られ、生物の多様性に富んだ自然共生社会づくり

7 川の保全と再生				B		
状況	<p>・アユが棲める水質の河川の割合については、水質は年度によりばらつきがあるが、改善傾向で推移しており、令和元年度は目標値である93%に達したものの、令和3年度は計画改定時の値89%と同じ値となった。</p> <p>・全国水質ワースト5河川にランクインしている綾瀬川、中川も、水質は計画策定時から改善傾向で推移している（綾瀬川のBOD:H22年度3.7→R3年度2.8、中川H22年度3.1→R3年度2.9）。現在では環境基準（BOD:5）及び上記の「アユが棲める水質」（BOD:3）のいずれも下回っている。引き続き、生活排水対策や河川流量の確保が重要である。</p> <p>・生活排水処理率については改善しているが目標値を下回る結果となった。下水道等生活排水処理施設の整備を進めるほか、浄化槽台帳の整備により、単独処理浄化槽の使用状況の把握を進め、その情報を市町村と共有することで、効率的に転換を働きかけていく。</p> <p>・川の再生への県民参加の指標である「川の国応援団への支援件数」は、環境学習資材の配付が一巡し、団体からの申請が減少している。R3年度から取組を始めたSAITAMAリバーサポーターズプロジェクトに合わせて、提供資材のリニューアルなどの対策が功を奏し、令和3年度は回復傾向が見られたものの、コロナ渦による活動自粛の影響により、目標値を下回る結果となった。</p>					
指標の達成状況	アユが棲める水質の河川の割合	%	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
継続	△		89	89	93	93
指標の達成状況	全国水質ワースト5河川 (国土交通省直轄管理区間)	—	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
継続	△		綾瀬川、中川	綾瀬川(BOD:2.8) 中川(BOD:2.9)	該当河川なし	該当河川なし
指標の達成状況	生活排水処理率	%	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
継続	○		90.6	93.6	96.4	96.4
指標の達成状況	川の国応援団への支援件数	件	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
H29新規	○		213	281	300	300

8 みどりの保全と再生						A	
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の保全面積については、目標値を上回った。今後もふるさとの緑の景観地や特別緑地保全地区など地域制緑地の指定や公有地化の推進を図っていく。 ・身近な緑の創出面積は目標値を達成した。今後も小規模な敷地面積(1,000m²以上3,000m²未満)においても確実に緑化を行ってもらうため、緑化計画届出制度の周知徹底を図っていく。 ・みどりのサポーターズクラブ入会団体数は目標値を達成した。引き続き、団体・企業・個人が緑化活動に取り組めるよう、ニーズを踏まえた支援を行っていく。 						
継続	指標の達成状況	緑の保全面積(累計)	ha	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
	◎			531	558.2	557	557
H29見直	指標の達成状況	【再掲】 身近な緑の創出面積(累計)	ha	改定時 H27年度	最新値 H29～R3年度累計	当該年度目標値 H29～R3年度累計	目標値 H29～R3年度累計
	◎			-	371.9	250	250
継続	指標の達成状況	彩の国みどりのサポーターズクラブ 入会団体数(累計)	団体	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
	◎			233	583	310	310

9 森林の整備と保全						B
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の整備面積は、台風などによる災害の発生等により林道が一時使用不可となったことやコロナ禍においてボランティアが森林整備活動を控えたことなどが影響し、目標値を下回る結果となった。林業の採算性の悪化により低迷しているが、みどりの基金等を活用し、森林の間伐や里山・平地林の整備等を行っていく。 ・森林ボランティア活動に参加した人数は令和元年度までは目標値以上で推移していたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の拡大により、人が集まる活動を控えたことが影響し、目標値を下回る結果となった。 ・県産木材供給量は、令和元年の台風19号による災害の影響が続いたことや、新型コロナウイルス感染症の拡大により森林所有者との伐採交渉が滞ったことなどが影響し、目標値を下回る結果となった。みどりの基金等を活用し、森林組合等を支援して、皆伐・再造林を促進していく。 ・作業道の延長は、目標値を下回る結果となった。森林組合等に対し、施業団地の確保に向けた指導・助言、零細事業者への技術者育成支援等を行っていく。 					
指標の達成状況	森林の整備面積(累計)	ha	改定時 H27年度	最新値 H29～R3年度累計	当該年度目標値 H29～R3年度累計	目標値 H29～R3年度累計
H29見直し	○		-	9,765	12,500	12,500
指標の達成状況	森林ボランティア活動に参加する延べ人数	人	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
H29見直し	△		25,500	15,500	28,500	28,500
指標の達成状況	県産木材の供給量	m ³ /年	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
継続	△		87,000	85,000	116,000	116,000
指標の達成状況	作業道の延長	km	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
H29新規	○		471	716	860	860

10 生物多様性の保全						A
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・希少野生動植物種の保護増殖箇所数については、地域ボランティア団体や学校等との連携の強化により目標値を達成した。県内の豊かな生態系を次世代へ継承できるよう、今後も関係者と連携しながら、生物多様性保全の一環として希少種の保護対策を進めていく。 					
指標の達成状況	希少野生動植物種の保護増殖箇所数(累計)	箇所	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
継続	◎		88	147	120	120

IV 安心・安全な環境保全型社会づくり

1 1 大気環境の保全						A
状況	・PM2.5の濃度は当該年度の目標値を達成した。引き続き、VOC等の規制対象事業者に対する排出抑制の徹底、事業者の自主的な取組支援等を実施する。					
指標の達成状況	微小粒子状物質(PM2.5)の濃度	μg/m ³	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
H29見直	◎		13.6	9.0	12.0	12.0
1 2 公共用水域・地下水及び土壌の汚染防止						C
状況	・アユが棲める水質の河川の割合については、水質は年度によりばらつきがあるが、改善傾向で推移しており、令和元年度は目標値である93%に達したものの、令和3年度は計画改定時の値89%と同じ値となった。 ・全国水質ワースト5河川にランクインしている綾瀬川、中川も、水質は計画策定時から改善傾向で推移している(綾瀬川のBOD:H22年度3.7→R3年度2.8、中川H22年度3.1→R3年度2.9)。現在では環境基準(BOD:5)及び上記の「アユが棲める水質」(BOD:3)のいずれも下回っている。引き続き、生活排水対策や河川流量の確保が重要である。					
指標の達成状況	【再掲】 アユが棲める水質の河川の割合	%	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
継続	△		89	89	93	93
指標の達成状況	【再掲】 全国水質ワースト5河川 (国土交通省直轄管理区間)	—	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
継続	△		綾瀬川、中川	綾瀬川(BOD:2.8) 中川(BOD:2.9)	該当河川なし	該当河川なし
1 3 化学物質・放射性物質対策の推進						A
状況	・環境コミュニケーション実施数は、目標値を達成した。化学物質への県民の理解を深めるため、企業による環境コミュニケーションの拡大に向け、企業訪問による働きかけや、研修会の開催等を通じた事業者の支援を行っていく。 ・環境大気中の石綿濃度1本/L以下の維持は、目標値を達成した。今後も、石綿使用建築物の届出解体工事等に対する立入検査等により、適切な石綿飛散防止措置の徹底を図る。					
指標の達成状況	環境コミュニケーション実施数(累計)	回	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
継続	◎		210	385	344	344
指標の達成状況	環境大気中の石綿濃度1本/L以下の維持	地点	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
H29見直	◎		全地点(20地点)	全地点(20地点)	全地点(20地点)	全地点(20地点)

1 4 身近な生活環境の保全						B
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所における公害防止体制の整備には、公害防止管理者や公害防止主任者の公害防止に関するレベルを一段と向上させる必要がある。そのため、公害防止管理者・主任者向けフォローアップ研修を推進している。 ・新型コロナウイルス感染予防やまん延防止等重点措置の発令等を受け、事業が縮小されたため、目標値を下回る結果となった。今後は、「公害防止組織アップデート研修」において、近年の法令改正状況や不適正事例などを中心に研修を行っていく。 					
指標の達成状況	公害防止管理者・主任者向け フォローアップ研修の参加者数(累計)	人	改定時 H27年度	最新値 H29～R3年度累計	当該年度目標値 H29～R3年度累計	目標値 H29～R3年度累計
○			-	2,164	2,400	2,400

継続

1 5 環境分野の災害への備えの推進						B
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害対策を組み込んだ特定化学物質適正管理手順書の提出率は当該年度の目標値を概ね達成した。今後も未提出企業に対して手順書の作成及び提出の指導を継続するとともに、企業へ特定化学物質の適正管理についての研修を行っていく。 					
指標の達成状況	大規模災害対策を組み込んだ 特定化学物質適正管理手順書の提出率	%	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
○			1.2	99.9	100	100

H29新規

V 環境の保全・創造に向けて各主体が取り組む協働社会づくり

1 6 環境と経済発展の好循環の創出						A
状況	・環境ビジネス関連セミナーの参加企業数については、目標値を達成した。 今後も企業の関心が高いものをテーマに選定し、参加企業数の増加を目指す。					
指標の 達成状況	環境ビジネス関連セミナーの参加企業数(累 計)	社	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
◎			713	1081	1000	1000
継続						
1 7 環境と共生する地域づくりの推進						A
状況	・地域清掃活動団体の登録数については、目標値を達成した。 今後も包括連携協定企業や清掃活動を行っている団体等に対して登録の働きかけを続けていく。					
指標の 達成状況	地域清掃活動団体の登録数(累計)	団体	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
◎			531	879	830	830
継続						
1 8 連携・協働による取組の拡大						B
状況	・環境アドバイザー、環境教育アシスタント、環境学習応援隊の派遣回数は、新型コロナウイルス感染症の影響があり、派遣回数が減少し、目標の達成には至らなかった。今後は、小中学校、高校、市町村との連携を強化し、派遣回数の増加を図っていく。 ・希少野生動植物種の保護増殖箇所数については、地域ボランティア団体や学校等との連携の強化により目標値を達成した。 ・みどりのサポーターズクラブ入会団体数は目標値を達成した。引き続き団体・企業・個人が緑化活動に取り組めるよう、ニーズを踏まえた支援を行っていく。					
指標の 達成状況	環境アドバイザー、環境教育アシスタント、 環境学習応援隊の派遣回数	回	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
△			237	224	300	300
指標の 達成状況	【再掲】 希少野生動植物種の保護増殖箇所数(累計)	箇所	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
◎			88	147	120	120
指標の 達成状況	【再掲】 彩の国みどりのサポーターズクラブ 入会団体数(累計)	団体	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
◎			233	583	310	310
継続						

19 環境を守り育てる人材育成						B	
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境アドバイザー、環境教育アシスタント、環境学習応援隊による環境学習の参加人数は、新型コロナウイルス感染症の影響があり、目標の達成には至らなかった。今後は、小中学校、高校、市町村との連携を強化し、参加人数の増加を図っていく。 ・環境科学国際センター利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響があり、目標値を下回った。今後は、特別企画や環境学習講座を開催するとともに、SNSやHPなどを活用して積極的な広報活動を行う。 ・エコドライブアドバイザーの認定者数は目標値を達成し、エコドライブ普及の核となる人物が着実に養成されている。 						
H29新規	指標の達成状況	環境アドバイザー、環境教育アシスタント、環境学習応援隊による環境学習の参加人数	人	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
	△			19,276	13,288	20,000	20,000
継続	指標の達成状況	環境科学国際センター利用者数 (平成12年度からの累計)	人	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
	○			761,742	1,008,824	1,032,000	1,032,000
継続	指標の達成状況	【再掲】 エコドライブアドバイザーの認定者数(累計)	人	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
	◎			9,907	28,564	18,750	18,750

20 環境科学・技術の振興と国際協力の推進						B	
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの指標については、それぞれ目標値を下回った。 ・環境分野における海外との交流者数については、令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、研究員の海外派遣、海外の研究員等の受入は行うことができなかった。 ・引き続き、関係機関との共同研究を進め、各種調査や研究による環境科学の振興に積極的に取り組むとともに、国際的な連携を進め、国際貢献を積極的に果たしていく。 						
継続	指標の達成状況	環境科学国際センターの共同研究数 (平成12年度からの累計)	件	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
	○			446	653	680	680
H29見直	指標の達成状況	環境分野における海外との交流者数 (平成12年度からの累計)	人	改定時 H27年度	最新値 R3年度	当該年度目標値 R3年度	目標値 R3年度
	○			806	1,045	1,300	1,300